

# 特定非営利活動法人こどもコミュニティケア 平成 25 年度

(2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日)

## 年次報告書



2014 年 8 月 31 日 定例総会



## 【平成 25 年度 事業報告】(2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日)

### 保育事業

「ちっちゃなこども園にじいろ」

「神戸市保育ママふたば」

→『神戸市小規模保育事業ちっちゃなこども園ふたば』の運営

従事者の人数：(にじいろ&ふたば合算 6月末現在)

有給職員(保育士9人、保育者2人、看護師1人、事務1人、調理1人)

刈バ-人材センターから5名(保育補助4人、調理1人) 登録ボランティア4人

#### ◆認可外保育施設「ちっちゃなこども園にじいろ」の運営◆

実施日時：月～金曜日 7時～20時30分 年間開園日数 240日

実施場所：法人施設

利用者定員：11人

利用者数：年間のべ 2,523人(前年度 2,396人 前年比 105%)

1日平均 10.5人利用

#### ◆グループ型家庭的保育事業「神戸市保育ママふたば」

→「神戸市小規模保育事業ちっちゃなこども園ふたば」の運営◆

実施日時：月～金曜日(土曜) 8時～18時 (2014年3月まで)

月～土曜日 午前7時30分～18時30分(2014年4月から)

年間開所日数 273日

実施場所：法人施設

利用者定員：10人

利用者数：年間のべ 2,015人(前年度 1,543人 前年比 130%)

1日平均 7.4人利用

#### ◇保育事業全体の受益者数の増加◇

「にじいろ」「ふたば」とともに、昨年度に引き続き、のべ利用者数が増加しました。

同じハードを使って、実際の受益者数を増やせたことは、地域での認知度・貢献度の上昇の証と考えられます。

2013 年 7 月から 2014 年 6 月	月ぎめ	一時	のべ利用者数 小計	要観察	日常的 医療ケア	医療観察 と与薬	手帳あり 日常介助 のみ
にじいろ(乳幼児)	1993	394	2387	0	96	0	288
にじいろ(学童)	0	136	136	1	0	0	105
ふたば(0～3 歳児)	2015	0	2015	0	340	0	161
にじいろ(乳幼児)割合	83,5%	16,5%	100,0%	0%	4%	0%	12%
にじいろ(学童) 割合	0,0%	100,0%	100,0%	0,7%	0,0%	0,0%	77,2%
ふたば(0～3 歳児)割合	100%	0%	100,0%	0%	16,9%	0%	8%
				(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)

### ◇保育ママから小規模保育事業への移行◇

平成 27 年度から子ども子育て新制度が開始されますが、神戸市では早急な待機児童対策のために、「グループ型家庭的保育事業（保育ママ）」を、平成 26 年度から「小規模保育事業」に移行することとなりました。当法人の「ふたば」もその対象となり、平成 26 年度を移行期間としつつ、2 年間の「保育ママ事業」を終了し、「神戸市小規模保育事業ちっちゃなこども園ふたば」として 4 月から再出発しました。

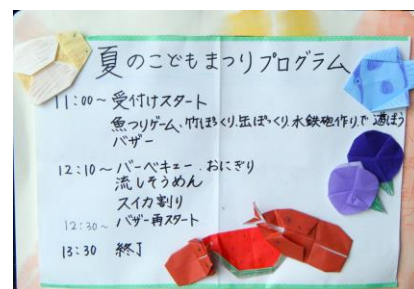
「保育ママ事業」と「小規模保育事業」の相違点は、以下の通りです。

- ・ 0 歳 6 ヶ月からの保育が可能となった。（保育ママは満 1 歳から）
- ・ すこやか保育（障がい児保育）の加算対象となった。
- ・ 保育室の面積基準、人員配置が認可保育園に準ずる形となった。
- ・ 調理に関わる管理、帳票などが認可保育園に準ずる形となった。
- ・ 平成 27 年度 4 月からは、入所の受付窓口が認可保育園と同じ「区役所」となる。  
（平成 26 年度中は、各園が保留通知を持っていることを前提に受付）→ 認可保育園と並べて「第 1 希望」「第 2 希望」として小規模保育が選べるようになり、入所までのタイムラグ（約 1 ヶ月）がなくなる予定。
- ・ 運営費、施設ごとの各加算が認可保育園と同様の考え方に則ることになり、事実上、運営費の引き上げとなる。また、運営費の支払いは、これまでの四半期ごとから毎月払いとなる。

## ◇「夏のこどもまつり」の開催◇

実 施：2013年8月31日（土）

実 施 場 所：舞多聞まちづくり館



こどもコミュニティケア通常総会の懇親ランチと、「にじいろ」「ふたば」の在園児さん、卒園児さん、そのご家族の懇親の場に発展させたいと、今回は「夏のこどもまつり」を企画しました。昨年もお世話になった「こちよい暮らしのお店くんぷ」の佐竹さんのご協力をいただき、流しそうめんも実施。そうめんを流す竹は、地元の「舞多聞エコ倶楽部」さんからいただきました！風が強くお天気が心配でしたが、バーベキューにスイカ割りと、親子で楽しんでいただけるひとときになりました。ほかにも下記のようなブースを出しました。

- 竹を使った水鉄砲づくり
- 竹のぼっくりづくり
- バザー
- ペットボトルの魚釣り
- 各ブースのスタンプラリー





## ◇ ミニ運動会 ◇

実施：2013年10月18日（金）午前中

実施場所：学園南公園 芝生広場

「にじいろ」「ふたば」合同で、実施しました。小さい子どもたちなので、「競技を楽しむ」ことを第1として、保護者さんのご参観は任意で、少し遠目に見守っていただきました。

・しっぽとり      ・玉入れ      ・でかパン競争&メダル取り      ・リレー

園で作ったおにぎりや蒸し野菜&鶏に「くんぷ」さんの野菜コロッケのお弁当をみんなでお腹いっぱい食べました！



## ◇ 保育研修 ニュージーランドのバーニー先生をお迎えして ◇

実 施：2013年11月9日（土）

実 施 場 所：ちっちゃなこども園にじいろ

ニュージーランドで長年、シュタイナー教育に基づく保育園を運営しておられるバーニー先生をお招きして、保育スタッフ研修会を行いました。

「ちっちゃな保育所」時代から数えて、バーニー先生が私たちの園を訪れてくださったのは、3回目。私たちの進歩を毎回、丁寧に褒めてくださいます。

「にじいろ」「ふたば」で子どもたちが入園のときに出逢う「スリーピングドール」は、バーニー先生の発案で、バーニー先生自ら作ってくださったものか、先生からスリーピングドールの技術と魂を受け継いだ方によって制作されています。

今回のテーマは「お人形」。幼い子どもたちにとってのお人形とは何か、人形劇が持つ意味は何か、スリーピングドールの手入れの仕方を学びました。

また、今回の来日でも、保護者向け、保育者向けに多くの講演会をもたれました。保育スタッフも、大阪などへ足を運び、バーニー先生の実践や「乳幼児のためのシュタイナー教育」について学びを深めました。

左は、バーニー先生の著書「乳幼児のためのシュタイナー教育」（水声社）です。



## ◇「親子遠足」の開催◇

実 施 期 間：2014 年 3 月 29 日（土）9 時 45 分～12 時

実 施 場 所：舞多聞のオリエンテーリング → 学園南公園

参 加 者：子ども 20 名 大人 20 名

今年は「舞多聞まちづくり館」に集合し、グループに分かれていつもの「朝の会」をしてから、「いつものお散歩コース」を歩きました！ 普段は、お父さんお母さんに「すぐ抱っこ」の子どもたちも、しっかり学園南公園まで歩き通し、成長ぶりを見ていただきました。また、「秘密の階段」や「遊歩道」など、子どもたちのいつもの遊び場所を親子でじっくり味わっていただきました。その後は、学園南公園の芝生広場に集まって記念撮影とお弁当タイム。保護者さんも子どもたちも春の気配たっぷりの半日を楽しみました。保育者も、一緒にお弁当をいただき、保護者さんから日ごろのお子さんのご様子をお伺いすることができ、たいへん嬉しい半日でした。





## ◇園だより「にじいろだより」「ほいくだより」発行◇

実 施 日 時：2010 年4月～、隔月1 回発行

従 事 者 の 人 数：有給職員1～2名

発 行 数：毎月約40部、

配 布 先：在園児、CCC 会員、関係者

「にじいろ」と「ふたば」の合同で、ひきつづき、ほいくだよりの発行を行っています。保育での子ども達の様子や、イベント告知、給食の人気レシピなど、定番ですが、いつも楽しい記事が集まります。NPO法人イーパーツさんのプリンタ寄贈プログラムで、リコーのカラーレーザープリンタ（2009 年冬）、ブラザーのインクジェット複合機（2014 年春）を使って、写真やイラストが活きるように、カラー刷りにしています。

ご寄付をいただいた方にも、お礼状に、その時のバックナンバーを同封するようにしています。（印刷在庫がなく、お送りできないこともあります）

## ◇毎日のショート・ミーティング◇

実 施 日 時：にじいろ・ふたばが保育を行っている日 午後1 時～1 時30 分

従 事 者 の 人 数：その時間帯に出勤している保育スタッフ5～8名

引き続き、毎日、「にじいろ」「ふたば」での合同ショート・ミーティングを行っています。子どもたちの体調やケガ、保護者様からのコメント、午前中の保育の様子、ヒヤリハット事例、成長したエピソード、個別保育計画などを共有します。

話し合いでは、掃除などの業務分担や、お子さんひとりずつの保育計画、情報共有、実施の評価なども行います。今年度は、来年度からの「子ども子育て新制度」についての情報提供などの話題も増えました。スタッフが外部の研修を受けて学んだことをシェアしたり、日ごろ感じていることを話したりすることもあります。医療的な配慮の基礎や、プロの保育者としての知識やスキルについての小さな学習会等も行うなど、毎日30 分をしっかりと積み重ねています。

毎週水曜日にはできるだけ多くの保育スタッフが参加し、1 時間のスタッフミーティングとしています。行事の打合せや、防災訓練など、保育スタッフみんながそろっていることが望ましい事柄について、じっくり取り組んでいます。

## ◇月1 回のチャイルドスタディ（子どもの観察）◇

水曜日にはできるだけ多くの保育スタッフが参加し、オイリュトミストの岩橋裕子先生をお迎えして、シュタイナー教育の観点からの子どもの観察を行っています。日ごろ、子どもたちに接しているそれぞれのスタッフが、1 人の子どもについて観察したこと、

体験したエピソードを共有し、子どもをさらに深く理解し、次の保育に活かして行くための大切な時間です。ろうそくをともし、シュタイナーの言葉から始まる時間は、私たちが保育者として、ケアを行う者として、そして保育チームの一員としての初心と謙虚さをもう一度しっかりと取り戻す手助けとなっています。

## **コミュニティ・スペースの運営事業**

今年度は運営実績なし。（希望者なし）



# 子どもの健全育成に関わる調査研究提言事業

2013年度は、法人としての独立した事業実施はありませんでした。

## ◆全国小規模保育協議会への参加◆

ネットワーク活動として、「全国小規模保育協議会」に賛助団体として参加し、メーリングリストを活用して、首都圏の小規模保育を運営する方々と積極的に意見交換や情報共有を行っています。

全国小規模保育協議会 <http://syokibohoiku.or.jp>

## ◆「家庭的保育を考える会」への参加◆

神戸女子大学の永井久美子先生が、保育ママなど家庭的保育についてアンケートやインタビュー調査をしておられたのをきっかけに、「横のつながりが作れると良いね」という話になり、当法人の「ふたば」が最初の会場となって、交流会を持ちました。

第1回：2013年8月25日 当法人「ふたば」にて

第2回：2014年2月2日 西宮「保育ルームぽかぽか」にて

引き続き2014年も9月に交流会を持ってくださる予定です。滋賀からも参加があるなど、毎回、参加者が増えています。なかなか他の園の中まで見せてもらえる機会はないですし、小規模保育で、0～2歳の異年齢縦割り保育については、あまり保育士養成学校でも取り扱われないようなので、保育士どうして多くの情報交換やつながりづくりにつながっていかねばと思っています。

## ◆日本保育学会 自主シンポジウムでの発表◆

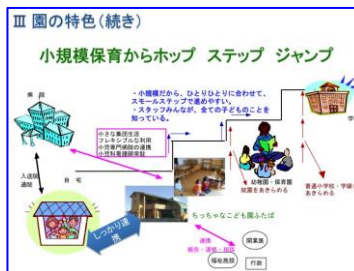
2014年5月18日（日） 大阪城南女子短期大学

神戸女子大学の永井久美子先生の呼びかけにより、西宮の保育ママの舟橋知子さん、古田千春さんと一緒に、「家庭的保育の実践 ～家庭的保育者からの提言～」と題して、にじいろ、ふたばの取り組みを事例として、末永がお話しさせていただきました。東京家政大学の網野武博先生は、日本で長く続いている「いわゆる大集団型保育」、ベビーシッターや保育ママといった家庭的保育など多くの保育形態について、概要とこれからの家庭的保育への充実への期待について、お話しくださいました。聴衆からも活発な意見や事例が発表され、充実したシンポジウムとなりました。下記は、その時のスライドの一部です。

### 家庭的保育の実践 — 家庭的保育者からの提言 —

永井久美子<sup>1)</sup>、本田まり<sup>2)</sup>  
末永美紀子<sup>3)</sup>、舟橋知子<sup>4)</sup>、古田千春<sup>4)</sup>  
網野武博<sup>5)</sup>

- 1) 神戸女子短期大学
- 2) 神戸市保育ママ ふたば
- 3) 子育て圏 ぽかぽか
- 4) 子育て圏 たけのこ
- 5) 現：東京家政大学(旧：武蔵野大学)



## 子育て支援事業

### ◆りんごろうそく◆

実 施：2013年11月30日（土）

実 施 場 所：ちっちゃなこども園にじいろ

参 加 者：子ども19名 と その保護者



今年もアドベント・ガーデンを行いました！



毎年やってくるこのアドベントガーデンは、卒園生、在園生それぞれの成長を、特にひしひしと感じます。

今年は、参加人数も増えたことから、にじいろの保育室で行いました。昨年よりもちょっぴり大きな「モミの木のらせんの道」をひとりひとりがしっかり歩んでいました。梅宮さんと矢作さんがリトルライアーとキンダーハープの演奏で子どものあゆみを支えてくださいました。

### ◆クリスマス・コンサート◆

実 施：2013年11月30日（土）

実 施 場 所：舞多聞まちづくり館

参 加 者：子ども17名 大人18名（保育関係）

子ども8名 大人12名（ボランティア等関係者）

アドベントの始まりに、毎年、実施している「クリスマス・コンサート」。

今年は、会場を「舞多聞まちづくり館」として、より多くの方をお迎えできるように準備しました。

毎年、当法人のコンサートに来てくださるライアーの高谷順子さんは、今年はギター奏者たーちゃんさんとのユニット「Moon Garden」としてご登場くださいました。



## 組織基盤強化

### ◆就業規則等の見直し◆

2008年の法人化を機に作った「就業規則」ですが、法律改正や現在の勤務態勢などを踏まえて、社会保険労務士さんを交え、全体の見直しを行いました。就業規則のほか、下記のルールも見直しや作成を行い、社労士さんを交えて、理事と職員参加の説明会および質疑応答を行いました。(2013年11月8日)



- ・賃金規定
- ・育児介護休業規定
- ・自家用車通勤規定
- ・外部研修に参加する際の休暇申請および参加費、交通費の補助について

### ◆認定NPO申請に向けて 模擬チェックを受けました◆

実施：2014年3月27日(木)

実施場所：法人事務局

当法人が申請可能になるのは2014年の総会が終わってから。これまでも準備を進めてきましたが、神戸市が「本申請に向けて、模擬のチェックを受けてみませんか」という案内をしておられたので、さっそく申し込み、年度末の忙しい時期ではありましたが、神戸市の市民参画推進局市民協働推進課(NPO認定担当)から2名の職員さんが来てくださり、半日かけてじっくりとチェックとその背景について解説してくださいました。

認定NPOの申請や運営にあたっては、ていねいな開設冊子が作成されていて、無料で配布されていますが、冊子を読んでいるだけでは分からない、細かい点や、なぜそうした規定があるのか、見落としがちなポイントなどを教えていただきました。

### ◆ボランティア・プログラムづくり◆

前年度、大阪ボランティア協会の永井さんやCS神戸の支援を受けて実施してきましたので、引き続き、プログラム作りに取り組みました。今年度は、垂水区の「地域を育てる区民応援助成(赤い羽根共同募金)」から約22.5万円の助成金をいただきました。助成のおかげで、他の子育て支援NPOのボランティアについて、ヒアリングしたり、「ボランティア・コーディネート協会」のボランティアコーディネーター研修(検定)に2人を送り出すことができました。

今後は、ボランティアの申出数に対して、どのくらいの方が継続して活動してくださっているか、ボランティアさん、スタッフのそれぞれの満足度など、毎年の指標を設け、この取り組みの目標や評価づくりに役立てていきたいと考えています。



## ◆「感謝の集い」の開催◆

実 施：2014年3月29日（土）

実施場所：舞多間まちづくり館

これまでのボランティアさんはじめ、利用者さん、会員や役員、支えてくださっている方々を招き、手芸ワークショップやマッサージ、茶話会、活動10年を振り返るコーナーなどを設けました。

ひとりひとりにお花を贈り、ボランティアさんをみなさんに紹介し、感謝を伝えて、来し方行く末を語る機会としました。

ご家族そろってご参加くださったボランティアさんもおられ、ご自身の活動を振り返っていただいたり、ボランティアさん同士が知り合ったりする機会となりました。法人役員、現職員、ご寄付くださった園の利用者さんなど多彩な支援者・関係者が集い、みんなで打楽器をもって、生演奏を共に楽しみました。



手作り年表で10年を振り返りました



10年間のベストショットをスライドショーで。

何ヶ月もかけて準備をし、演奏者さんやビーズ・アーティストさんたち、美味しいパンなどの手配をしてくださった役員の梅宮さん始め、親子遠足と平行して事前準備から当日の片付けまでしっかりと支えてくださったスタッフにも、この場を借りて、心から感謝を申し上げます。



次の10年を話そう！



バルーンアートとたくさんのお花、祝電いただきました





こどもコミュニティケアの名プロデューサー兼  
名司会と言え。この方！



たくさん食べてもいい？

10 周年に寄せて、たくさんのお祝いメッセージをいただきました。

一部ですが、ご紹介します。

♡ 親子共に「初めての保育園」がにじいろで本当に良かった、と息子が 1 年生になった今でも思っています。これからも地域の親子に楽しく、温かく、安心できる場所でいてもらいたいと思います。(神戸市)

♡ ボランティアをしていたころを懐かしく思い出しています。ますますのご活躍を期待しています。(神戸市)



♡ 「ちっちゃなこども園にじいろ」のあゆみは、大きく大きく成長され、多くの方の期待に応えられていることでしょう。職員、関係者の皆様に感謝です。今後の 10 年を語り、さらに子どもたちの未来を豊かにできますよう、心よりお祈り申し上げます。(三重)

♡ 末永さんとスタッフのみなさんの頑張りと笑顔に支えられている方々のことを思うと、本当に尊いお仕事だと思っています。これまでも、これからも子どもたちや家族の方々の光でいてあげてください。(大阪)

♡ 10 周年おめでとうございます。横浜から応援しています(神奈川)

♡ 今後のますますのご発展を心よりお祈りいたします。(山口)



ビーズをつないで

オリジナル・サンキャッチャー制作中



♪ サックスと  
キーボードの演奏 ♪  
鳴子や鈴、タンバリン  
などで聴衆も参加



♡ 10 周年おめでとうございます。思いを着実に形にしていく行動力に敬服。遠くから応援しています。(東京)

♡ 熱意・努力・工夫…皆様の汗の結晶ですね。ちっちゃいけれど大きな夢をのせた小舟が今や大海原を航海できる船になりました。1 年 1 年働きをまとめ、報告して、外にアピールし応援団を増やして…本当に一歩一歩着実に頭が下がります。これからもますますすてきな園となりますように。遠くから見ているだけの応援団より(大阪)

♡ 10 周年おめでとう！ 次の 10 周年に向けて、彼方をめざし、同時に足元を見つめて進もう。盛会を祈ります(大阪)

♡ 次の 10 年は、これまでと違うステージになるかと思いますが、少しずつ着実に進んでいってください。応援しています。(神戸市)

♡ 皆様の活動には頭が下がります。何らかの形でご協力させていただければ幸いです。ぜひ行きたいのですが、診療おわりが 14 時前なので、残念ながら欠席とさせていただきます。また機会あればぜひ誘ってください。(加古川市)

♡ 月日があっという間ですね。思いが形になり、広がっていかれることを祈ります。(千葉)



ハンドマッサージで癒しタイム♪

♡ 共生保育というこの形がもっと当然として世間に受け入れられるべきだと思っています。遠方のため、貴施設のイベント etc.に参加することがたいへん難しいですが、いつもお声を掛けていただき、とても嬉しく存じます。これからも益々のご発展を心よりお祈りしております。（埼玉）

♡ 様々な個性を持った子どもたちに伸びていける環境を！ ご活動、感心するとともに微力ながらいつも応援しております。「皆の笑顔を楽しみに」（明石市）

♡ スタッフの方々始め、関わった方皆様の思いとお力が、これからもますます大きく発展していき、よりすばらしい園になっていくことを願っています。たいへんなことも多いと思いますが、お体大切に、すてきな保育を続けていってください。（東京）

♡ お誘い頂きありがとうございます。皆様のご活躍、陰ながらいつも応援しています。今後も沢山の子どもさんやお母さん方の支えになる場として、がんばってください。当日は楽しみにしています。（神戸市）

♡ こどもコミュニティケアとの出会いに感謝いたします。これからも共に学びを深め、発展していけますように。どうぞ宜しくお願い致します。（宝塚市）

♡ どこでもだれでもどんなハンディがあっても安心安全なケアを受けられるシクミができれば良いです。兵庫県でも3号研修を広く普及し、さらにレベルアップの研修を保証し、地域での24時間ヘルプができればいいです。（篠山市）

♡ もう10年！のような、まだ10年？のような…。ラクな道のりではなかったけどシブトク頑張ってきましたよね。ご盛会をお祈りします。（宝塚市）

♡ 心よりお祝い申しあげます。未来ある子どもたちが自分を信じ、社会で生きていく基礎作りを手厚い保育を通して行っている姿を拝見すると、頭の下がる思いです。今後の益々のご活躍をお祈り申しあげます。（神戸市）

♡ おひとりおひとりに合ったこまやかな感保育を通し、ご家族と一緒に、ひとりでも多くの幼児さんの成長を見守っていかれる場として、今後、より繁栄されますことを願っています。



♡ 知り合ってまだ数年ですが、私たちにとって常に刺激を受け、頼りになる存在がこどもコミュニティケアであり、末永さんです。これからもつきすすみ、分け入っていく、そんなコミケアでありますよう、心から応援しています。もちろん、私たちも私たちらしくあり続けます。(西宮市)

♡ ニュースレターなども興味深く拝見してます。今後もなおいっそうご活躍されるのを楽しみにしています。(明石市)

♡ あたたかな環境で、家庭的な保育…にじいろさんのような保育が、これからも末永く続いていかれますことをお祈りしています。(神戸市)

♡ ちっちゃな保育所との出会いは、長女が1歳のとき。実に6年のおつきあいになります。頼りになる親戚のいない中、園にどれほど助けられたことか…。いつも生き生きと信念を持って活動されている園に、今では次女を通わせていること、誇りに思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申しあげます。(神戸市)

♡ 子どもたちの健やかな成長とこどもコミュニティケアのますますの御発展とご活躍をお祈り致します。保育ボランティアとして、スタッフのみなさまにご指導頂きながら、今後がんばっていきたいと思っています。よろしくお願いします。(神戸市)

♡ ひらけてにぎわっていく街と共に、これからもたくさんの子どもたちとの月日を重ねていかれますよう、益々の御発展をお祈りいたします。(神戸市)

♡ 3歳から、初めて親と離れて、園に泣きながら通っていた息子も今春、小学校3年生になりました。今では親より友だちという方が楽しくなり、たくましくなりました。にじいろさんでは、小さな心に寄り添いながら日々を過ごしてくださり、のびのびと成長できたように思います。今後もお世話になることがあると思います。よろしくお願いします。益々の発展をお祈りしています。(神戸市)

♡ 着実に歩まれるお姿に感銘を受けております。末永さんが以前おっしゃった「あきらめないこと」という言葉、今でも私の心の中に残っています。今後益々の御発展をお祈り申しあげます。(西宮市)

♡ 病気の子どもたちと向き合い、保育の大切さを学びました。いろいろな個性あふれる子どもたちの成長を見守ってくださるお仕事、ありがとうございます。にじいろに通ってくる子どもたちは幸せですね。これからもすてきな時間が過ごせる場として、よろしくお願いします。10周年ばんざーい！(神戸市)

♡ 10年間よくぞがんばられました。敬服します。今後、益々のご活躍を期待しています。(神戸市)



♡ 10周年おめでとうございます！ 社会の中で小さくされている側から「正義」を実現する働きに敬意を表します。これからも益々のご発展を心よりお祈り致します。（尼崎市）

♡ 小さい頃から多様な人と一緒に過ごす貴重な活動、これからも頑張ってください。（東京）

♡ 10周年おめでとうございます。「思い」の段階からご縁をいただいた者として、行動力に敬服すると共に、こんなに嬉しいことはございません。これからもたくさん子どもたち&保護者の方に楽しい思い出をたくさん作って差しあげてください！（東京）

♡ 今後も理念の元、ご活躍 継続していただくよう、切に願います。「こどもコミュニティケア♡」ひとりでも多くの方に届きますように。（神戸市）

♡ 10年間、本当に山あり谷ありだったのでは…。先輩として誇りに思います！（大阪）

## 取材・記事・メディア出演

### ◆ Nursing Today 「私の転機」インタビュー記事◆

看護師さんむけの「ケア総合誌」で、3万部が発行されています。


「地域で活動する看護師」として、代表理事の末永美紀子のインタビュー記事が掲載されました。（2013年12月）

ナースインタビュー

### 私の転機 — 選択の時代を生きる


File.4 末永美紀子 さん Suenaga Mikiko

共生保育を掲げ、保育所を開設



現在の末永さん

NPO法人こどもコミュニティケア代表理事、兵庫県立看護大学卒業後、内科医職、小児科医職経験を以て、出産を機に退職。2004年、認可外保育施設「ちっちゃな保育所（現・ちっちゃなこども園に在る）」を開院。



園のウッドデッキで0歳から学童までの子どもたちと。左が園で一番の若手スタッフ。右はボランティアの看護師さん。

**子どもは子ども社会に参加する権利がある**

障害のある子どもと健常児が、ともに育ち合える保育所を運営しておられます。起業のきっかけを教えてください。

末永 小児科病棟勤務時に、障害児には一時保育の場がなく、親がつきっきりで世話をしているという現実を知ったことがきっかけです。また、職場の女医さんと先輩看護師が出産を機に退職するのを見て、同じ立場の人をサポートしたいという思いもありました。私自身、子育てと看護師の仕事の両立は体力的に難しく感じていたので、育児をしながら、しかも看護師という立場も生かせる仕事はなんだろうと前々から模索していたのです。障害児と健常児とともに保育する「共生保育」を選んだのは、子どもは子ども社会に参加する権利があると考えたから。障害や病気を特別視することなく、子ども同士、の子どもが当たり前に集まれる場をつくりたかったのです。

**共生保育について、お母さんたちはどのように評価されていますか。**

末永 入園案内を読んでいたからです。マイナスに捉える方はおられません。むしろ、「自分には障害のある子どもと一緒に育った経験がないので、子どもにこういう機会を与えられてよかった」という声をいただきます。ただ、障害や病気のある子どもの保育は、保育や教育の専門家にさえ「大変ですね」と言われることがあります。一人の子どもとして見る前に「大変」というフィルターがかかっている気がして、そのたびに切なくなります。健常児でも目によっては大変な時があるように、障害のある子ども、大変な時があればそうでもない時もある。同じ大変でも、後者の場合は「やっぱり手がかる」と、

彼らへの個別ケアは特別視されやすい気がします。「この子のためにほかの子に合わせよう」という色眼鏡をかけていないかどうか、支援者は自分自身に敏感でないといけないと、反省も込めて強く思っています。

**看護師の経験は保育所経営にどう生かされていますか。**

末永 看護師、保育士の各領域は8割くらい重なっていると思います。もちろん、それぞれ得意分野はあります。看護師は集団を受け持ちながらその中で個別ケアを展開することが得意ですが、保育士や学校の先生は、個別にケアをしたり手を貸したりすることを不平等だと考える人が多いように感じます。一方で保育士は、集団力字を使って全体を盛り上げたり同じ方向に集中させたりするのが上手です。当園でも、看護師と保育士がそれぞれの強みを生かしながら保育をしています。また当園では、お迎えが遅い子には夕食やお風呂を提供していますが、それに対し「それは母親の仕事だ」「お母さんをさばせないで」という意見をよくいただきます。でも私は、夕方にはご飯を食べ、夜7時を過ぎたら眠るというのが子どもの権利だし、健康な生活を送る上で大切なことだと思います。本来あるべき生活リズムを大人の都合ですらすらのは避けたいし、家庭環境と同等程度のものを提供するというのが保育の考え方ならば、それをしてはいけません。理由はいいですね。その意味では、母親のサポートというより、子どもの健康を守るという看護師的な視点に近いかもしれません。

**起業は、自分で決断し結果を引き受けること**

開園から10年。どのような苦労がありましたか。

末永 一番大変だったのは自分自身を変えることですね。起業するというとは、決断を迫られる場面が増えるということです。そして、その結果を自分で引き受けなければならない。それに慣れるのに時間がかかりました。眠れない夜もありましたが、原因にばかりこだわったり、環境や他人のせいにするのをやめて「この状況から私は次に何をやる？」と、自分に集中して次につなげることを考えるようになって、すいぶん切り替えられるようになりました。

もう一つはお金です。最初は、一軒家を借りて定員12名からのスタートでした。当時は当園のような小規模施設が受けられる補助金制度がまったくなく、民間の助成金と利用料とでなんとかやり繰りしてきました。当園の保育スタッフは、保育の中でもより知識や技術が必要とされる異年齢保育、共生保育という難しい仕事に熱心に取り組んでくれています。けれど、それに合ったお給料をお渡しできていないのが心苦しいところです。実は、あまりに金銭的に苦しくて、「補助金をもらいやすい障害児だけを対象にしたデイサービスに変えよう」と、園のスタッフや役員に相談したことがあります。すると皆さんが「これは、障害や病気がある子どもでなく、一緒にいられるからいいんです。普通の保育園やデイサービスならほかの人でもできます。私たちだからこそのことをやりましょう」と言ってくれて、驚くと同時にすこうれしかったですね。

**地域には地域の難しさと専門性がある**

「にじいる」のような共生保育の取り組みは全国的にも広がっているのでしょうか。

末永 〇この保育所を始めた時、私の看護師経験はわずか4年でした。そんな私でもお母さんたちに救われながらなんとかやってこれたのだから、同様の施設がたくさんできていくだろうと当初は思っていました。でも実際は、日本で医療的ケアにも対応でき、長時間保育も一時保育も可能な施設というのはほとんどないそうです。なので今後は、こうした取り組みをもっと多くの地域に広げるための活動と同時に、そこで働く人の専門性が社会的にちゃんと評価されるような環境もつくってきたいですね。

**同じ道をめざす看護師にメッセージをお願いします。**

末永 〇ぜひ一緒にやりましょう！（笑）ただ、面談に来られた看護師さんの中には、「病棟で燃え尽きたので癒されたくて」とか「ちょっと休憩したくて来ました」という人もいて、少し残念に思っています。日本では、大きな病院で救急や高度医療に携わることこそが花形だという雰囲気がある、地域の施設で働くことは、第一線から退くことだと考えている人が多いようです。でも、地域には地域の難しさと専門性がある。どの時点で医師とつなぐのか、リハビリテーションと日常生活のバランスはどうかなど、自分で判断する場面が多く、成熟した人格やバランス感覚、判断力が必要とされます。また、地域で働くということは、同じ組織に属さない人、例えばヘルパーや家族と連携していく力も求められます。厳しいけれど、その分やりがいがあるって、すごく面白いフィールドです。誇りを持って、この道を歩いていきたいですね。

（取材・江澤恭子）

# 【平成 25 年度 決算報告】(2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日)

## 2013年度 活動計算書(報告書)

2013年07月01日～2014年06月30日(配賦)

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科	科目	金額	
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取寄付金			
受取寄付金	1,771,428		
書籍受贈益	68,800		
受取寄付金計		1,840,228	
受取助成金等			
受取国庫補助金	37,200		
受取地方公共団体補助金	14,896,750		
受取民間助成金	225,383		
受取助成金等計		15,159,333	
事業収益			
こども園運営事業収益	10,364,190		
保育ママ運営事業収益	5,319,830		
子育て支援講演会・講座活動収益	43,000		
物品販売事業収益	38,710		
講義・助言・謝礼活動収益	7,000		
事業収益計		15,772,730	
その他収益			
受取利息	634		
雑収益	90,419		
その他収益計		91,053	
経常収益合計			32,863,344
(2)経常費用			
事業費			
■保育事業			
こども園運営事業費	14,736,284		
保育ママ運営事業費	15,733,213		
物品取扱費	39,228		
■保育事業計		30,508,725	
事業費計		30,508,725	
管理費			
管理費計		1,411,448	
経常費用合計			31,920,173
当期経常増減額			943,171
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用合計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			943,171
当期正味財産増減額			943,171
前期繰越正味財産額			9,062,823
次期繰越正味財産額			10,005,994

費用の詳細は、次ページの明細に記しています。



2013年度 事業別費用明細書 2013年07月01日～2014年06月30日(配賦)  
 特定非営利活動法人こどもコミュニティケア 特定非営利活動に係る事業の会計

内訳CD	内訳名	こども園運営事業費	保育ママ運営事業費	物品取扱費	事業費計	管理費計	合計
【人件費】							
- 30	給料手当	6,778,294	9,021,055	0	15,799,349	899,559	16,698,908
- 38	賞与	647,530	714,417	0	1,361,947	75,741	1,437,688
- 43	法定福利費	790,162	962,921	0	1,753,083	75,888	1,828,971
- 48	福利厚生費	49,162	51,254	0	100,416	6,374	106,790
- 50	通勤交通費	512,759	526,563	0	1,039,322	69,660	1,108,982
【人件費計】		8,777,907	11,276,210	0	20,054,117	1,127,222	21,181,339
【その他費用】							
- 5	期首商品棚卸高	0	0	56,322	56,322	0	56,322
- 6	ぞうり仕入高	0	0	5,616	5,616	0	5,616
- 7	ぼうし仕入高	0	0	18,232	18,232	0	18,232
- 9	ヴェレダ製品仕入高	0	0	46,300	46,300	0	46,300
- 10	書籍仕入高	0	0	1,200	1,200	0	1,200
- 18	期末商品棚卸高	0	0	-92,177	-92,177	0	-92,177
- 39	諸手当	36,986	38,532	0	75,518	4,975	80,493
- 47	講師謝金	452,508	100,623	0	553,131	2,555	555,686
- 55	活動交通費	41,907	50,991	256	93,154	4,235	97,389
- 59	ボランティア交通費	26,615	32,229	74	58,918	2,692	61,610
- 61	会議費	28,680	32,995	105	61,780	23,419	85,199
- 62	食事手当	218,913	270,208	0	489,121	26,539	515,660
- 64	食材費	750,920	622,317	0	1,373,237	0	1,373,237
- 71	消耗品費	429,410	469,563	1,051	900,024	43,498	943,522
- 72	オムツ代	44,458	88,568	0	133,026	0	133,026
- 73	健診代(子ども)	12,800	8,000	0	20,800	0	20,800
- 76	通信費	101,361	117,891	509	219,761	11,331	231,092
- 79	交際費	15,688	18,692	74	34,454	1,711	36,165
- 80	資料図書費	27,237	30,183	88	57,508	1,745	59,253
- 81	運賃運搬費	11,839	13,484	86	25,409	1,717	27,126
- 82	研修費	86,858	84,961	191	172,010	3,615	175,625
- 87	修繕費	28,059	34,217	198	62,474	2,986	65,460
- 88	保険料	46,916	52,056	0	98,972	2,688	101,660
- 90	リース料	0	2,100	0	2,100	0	2,100
- 96	ガス料	51,380	59,323	271	110,974	5,753	116,727
- 97	電気料	59,556	67,976	247	127,779	6,760	134,539
- 98	水道料	48,833	52,155	278	101,266	5,331	106,597
- 99	駐車場借上費	173,920	209,886	0	383,806	24,194	408,000
- 100	支払地代家賃	1,327,200	1,072,800	0	2,400,000	0	2,400,000
- 101	会場費	1,593	1,530	7	3,130	170	3,300
- 105	報酬料	282,610	298,993	0	581,603	37,747	619,350
- 106	諸謝金	2,085	194,630	0	196,715	12,285	209,000
- 108	委託費	532,742	36,325	0	569,067	0	569,067
- 110	諸会費	19,707	55,410	150	75,267	1,733	77,000
- 115	支払手数料	1,352	24,813	11	26,176	24,600	50,776
- 116	相談料	0	0	0	0	22,000	22,000
- 120	租税公課	20,969	24,092	103	45,164	2,336	47,500
- 150	ゴミ処理費	6,734	7,715	34	14,483	745	15,228
- 151	雑費	239	208	2	449	26	475
- 156	減価償却費	1,018,262	220,417	0	1,238,679	0	1,238,679
- 200	支払利息	50,040	63,120	0	113,160	6,840	120,000
【その他費用計】		5,958,377	4,457,003	39,228	10,454,608	284,226	10,738,834
合計		14,736,284	15,733,213	39,228	30,508,725	1,411,448	31,920,173

2013年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2014年6月30日現在

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
レジ		366,747		
当座預金		1,914,964		
普通預金		4,135,447		
商品		159,777		
未収金		1,700,184		
前払金		278,659		
流動資産合計			8,555,778	
固定資産				
建物		8,167,587		
建物付属設備		1,125,410		
構築物		1,569,581		
什器備品		296,433		
敷金		623,000		
出資金		89,000		
固定資産合計			11,871,011	
資産合計				20,426,789
負債の部				
流動負債				
未払金		2,246,486		
前受金		200,900		
預り金		173,409		
短期借入金		2,400,000		
流動負債合計			5,020,795	
固定負債				
長期借入金		5,400,000		
固定負債合計			5,400,000	
負債合計				10,420,795
正味財産合計				10,005,994



2013年度

財産目録

科目ごとの内訳

商品		未払金	
ヴェレダ商品	51,660	給与@6月分	1,595,210
子ども用ぞうり	13,760	@井上さん交通費	2,820
子ども用帽子	24,920	預り社会保険料 @4月分差額	23,998
計	90,340	預り社会保険料 @6月分	311,969
書籍在庫		預り社会保険料 @6月分賞与	170,801
書籍	1,837	労働保険料(不足分)	24,579
書籍(寄付として)	67,600	シルバー人材センター	66,113
計	69,437	諸経費(都市生活未払分)	50,996
		計	2,246,486
未収金		前受金	
神戸市運営費(すこやか保 育加算4~6月分)	1,419,750	7月分給食費@末永	21,000
神戸市家賃補助 (4~6月分)	201,000	7月分保育料@ふたば	179,900
末永(6月分保育料)	79,200	計	200,900
その他(めーむ返金分)	234	預り金	
計	1,700,184	源泉所得税@給与	71,498
		(5月分給与+6月分給与+6月賞与+6月税理士)	
前払金		源泉所得税@謝金	4,548
駐車場代7月分	34,000	(6月分)	
あゆみ会(ふたば連携費) 2015年3月分まで	144,000	雇用保険料(4~6月分)	26,363
リコー(2014年9月まで)	11,865	住民税(5~6月分)	71,000
給食ソフトウェア年間使用料	39,294	計	173,409
園児情報ソフトウェア年間使用 料	49,500	短期借入金	
計	278,659	2008年度借入金	6,500,000
敷金		2009年度借入金	-1,500,000
2008年度		2010年度借入金	300,000
家賃	500,000	2011年度借入金	-300,000
駐車場×3	99,000	2012年度借入金	-1,500,000
2013年度		2013年度借入金	-2,100,000
駐車場×1	24,000	2013年度借入金	1,000,000
計	623,000	計	2,400,000
出資金(都市生活)		長期借入金	
2008年度	30,000	2008年度借入金	2,700,000
2009年度	11,000	2011年度借入金	2,200,000
2010年度	12,000	2013年度借入金	-2,600,000
2011年度	12,000	2013年度借入金	3,100,000
2012年度	12,000	計	5,400,000
2013年度	12,000		
計	89,000		

## 2013年度 貸借対照表 (2014年6月30日現在)

特定非営利活動法人こどもコミュニティアーク 特定非営利活動に係る事業の会計  
(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
レジ	366,747	未払金	2,246,486
当座預金	1,914,964	前受金	200,900
普通預金	4,135,447	預り金	173,409
商品	159,777	短期借入金	2,400,000
未収金	1,700,184	流動負債合計	5,020,795
前払金	278,659	固定負債	
流動資産合計	8,555,778	長期借入金	5,400,000
固定資産		固定負債合計	5,400,000
建物	8,167,587	負債合計	10,420,795
建物付属設備	1,125,410	正味財産の部	
構築物	1,569,581	前期繰越正味財産	9,062,823
什器備品	296,433	当期正味財産増減額	943,171
敷金	623,000	正味財産合計	10,005,994
出資金	89,000		
固定資産合計	11,871,011		
資産合計	20,426,789	負債及び正味財産合計	20,426,789

特定非営利活動法人こどもコミュニティアーク

代表理事 末永 美紀子 殿

## 平成25年度 会計監査報告書

私は平成25年度監事として、貴法人の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの会計処理および財産の状況につき監査を行いました。  
その結果を下記のとおり報告致します。

### 監査意見

- ・ 会計処理および財産の管理が適切に行われていた
- ・ 現金過不足が1年間で1,250円(超過)発生していました。原因については、現金受け取り時の数え間違い、おつり受け渡しの間違いが考えられるとの報告を受けましたが、今後、再発防止策として保育料授受時に保護者と保育スタッフ両者でのダブルチェックなどを行うことを提案します

平成26年8月5日

監事

谷川 裕子 

特定非営利活動法人こどもコミュニティア  
代表理事 末永美紀子 殿

## 平成 25 年度（2013 年度） 監査報告書

私は、平成 25 年度監事として、貴法人の平成 25 年 7 月 1 日から  
平成 26 年 6 月 30 日までの理事の業務執行の状況について監査を行いました。  
その結果を下記のとおり、報告します。

### 監査意見

- ・ 業務執行およびその記録は、適切に行われていた。
- ・ 前年度、今田監事より勧めのあった法人業務日誌について、平成 25 年 8 月度より記載保管が行われていた。

平成 26 年 8 月 5 日

監事 浅井 由起 

以上